

公益社団法人 乙訓青年会議所
2023年度 総務財政委員会 基本方針

委員会方針： 率先垂範

委員長 島津 陽慎

課題背景	近年、経験年数の浅いメンバーが役職を担うなか、会議運営において必要な知識が不足し、質の高い事業構築が行いづらく、それが一因となり影響力のある運動が行えていない現状があります。そのようななかでも、私たちは地域に影響を与えられる組織になる必要があります。
設置目的	柔軟かつ規律ある事業構築と高い規範意識を、質の高い運動へとつなげることを目的とする。
SDGsのゴール	4【質の高い教育をみんなに】 4. 4【2023年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び企業に必要な技術を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。】 青年会議所での学びが、技術的、職業的なスキルの向上にもつながり、働きがいのある仕事及び企業に必要な技術を備えた成人の割合を増加させる一助とする。 4. 7【教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする】 青年会議所運動の方向性を理解すると共に責任を自覚し、組織として展開する運動に寄与する人財となることで地域における持続可能な開発、発展の貢献につながる。
目指すべき状態	◆3月セミナー例会の開催 質の高い事業を構築することで、地域への影響力がより一層高まった状態。 ◆12月例会の開催 乙訓青年会議所が持続的に発展することで、地域へ持続的に良い影響を与えられる状態。 ◆役員・スタッフセミナーの開催 組織の運動をより質の高いものとするので、2023年度の活動がより一層活性化され、地域により良い変化を与えていくことができる状態。 ◆京都ブロック協議会会長公式訪問の開催 組織を活性化させることで、地域への影響力がより一層向上された状態。 ◆オープン委員会の開催 規範意識の高い組織となることで、市民から信頼され影響を与えられる組織になる状態。 ◆会議運営 質の高い事業構築を行うことで、地域により大きなインパクトを与えられる運動が行える状態。 ◆予算管理 費用対効果の高い事業を構築することで、より効果的な運動が行える状態。

<p>事業概要</p>	<p>◆3月セレモニー例会の開催 質の高い事業を構築するために、地域に大きなインパクトを与える効率的な方法を学ぶことで、持続可能な運動の進め方を見出す力の向上へとつなげます。</p> <p>◆12月例会の開催 持続的な乙訓青年会議所の発展のために、1年間共に活動したメンバーを称え合い活動を振り返る機会を創出することで、次年度への活動意欲の向上へとつなげます。</p> <p>◆役員・スタッフセミナーの開催 組織の運動をより質の高いものとするために、運動の方向性と役職者としての責務を理解することで、一人ひとりの責任感の向上へとつなげます。</p> <p>◆京都ブロック協議会会長公式訪問の開催 組織を活性するために、京都ブロック協議会における運動の方向性を知り、協力・連携の意欲を向上させる機会を創出することで、メンバーの成長と学びの機会へとつなげます。</p> <p>◆オープン委員会の開催 規範意識の高い組織となるために、定款や守るべきルールの説明を行うことで、徹底して守れる環境を構築すると共に会議の重要性を理解することへとつなげます。</p> <p>◆会議運営 質の高い事業構築を行うために、入念な計画と徹底した検証を行うことで、議案精度の向上へとつなげます。</p> <p>◆予算管理 費用対効果の高い事業を構築するため、綿密な予算編成、透明性をもった財務処理を行うことで、予算との最適なバランスがとれた事業につなげます。</p>
<p>委員会方針</p>	<p>本年度、総務財政委員会は各委員会の模範となり率先して質の高い会議運営に取り組み、メンバーに波及できる存在となることを目指します。総務財政委員会メンバーにはそれぞれの活動の意義や守るべきものを伝え、次代につないで行ける環境を構築します。「意識が変われば人が変わる、人が変われば組織が変わる、組織が変われば乙訓(まち)が変わる」まずは一人ひとりに総務財政委員会としての学びを与え、乙訓青年会議所の未来を担える人財へと成長することで、乙訓(まち)に良い影響を与えられるように委員会運営を行ってまいります。</p>
<p>委員会スタッフ</p>	<p>委員長：島津 陽慎 副委員長：林 元気 運営幹事：八木 駿輔 広報幹事：奥村 友規</p>